

峡南会場

ぴゅあ峡南会場では午後のプログラムとして「峡南地域の未来を考える」交流会を実施しました。本交流会は、峡南地域が直面する「人口減少」および「消滅可能都市」という重要な課題をテーマに、参加者が複数のグループに分かれて意見交換を行う形式で実施しました。

意見交換では、人口減少に伴う伝承文化の担い手不足、地域コミュニティの維持、行政サービスの持続に対する懸念が共通課題として挙げられた一方、将来に向けた取組として移住の促進や企業誘致の必要性など前向きな意見も出されました。他にも「ゆるキャン△」をはじめとするアニメとのコラボレーションを通じて地域の魅力をPRするなど、峡南地域ならではの強みについても意見が多く挙げられました。少人数によるグループトークにすることで、全



体では発言しにくい率直な意見や地域の実情に基づいた具体的な課題が数多く共有され、非常に実りのある時間となりました。今回の交流会では、地域の課題に

ついて自分たち一人ひとりに何ができるのかを真剣に考える良い機会となりました。特に市町村男女共同参画推進委員や役場職員のみならず一般の参加者も交えて実施したことで、地域の声を行政に届ける場としても意義があったように感じます。今後も定期的にこのような機会を設けていきたいと思っています。



また、峡南会場では施設利用団体によるパッチワーク体験会、MusicExercise 体験会も並行して実施しました。いずれの体験会も、各団体の日頃の活動を地域の皆さんに知っていただくと同時に、参加者同士が気軽に会話を交わすことで、性別や世代を超えた交流も生まれました。これをきっかけにさらに多世代・多様な人同士が交流できる場づくりを進めていき、より開かれた施設の運営と地域活性化に繋げていきたいと思っています。



富士会場

ぴゅあ富士会場では午後のプログラムとして「地域×ジェンダー×若者—地域・世代とジェンダーのホンネー」と題した交流会を実施しました。2024年に行われた衆議院選挙の政策アンケートを実施するために有志のメンバーで結成した「ジェンダー政策ユース山梨」の3名をプレゼンターに招き、行いました。本交流会は、参加者が選択したテーマ別に複数のグループに分かれて意見交換を行う形式で実施しました。

前半はジェンダー政策ユース山梨に所属する3名が政策アンケートで聞いたことや自分の活動などを説明し、その後、地域の若者の意見として、富士北稜高校の生徒による活動報告やガールスカウト山梨第10団所属の学生によるジェンダーに関する調査の報告などが行われました。若者達の日々の活動やその結果についての考えなどを細かく聞くことができ、大変有意義な場となりました。とりわけ、最近テレビや新聞で取り上げられている「地方女子プロジェ



クト」の代表である山本蓮さんのお話は、非常に興味深く、説得力のあるものでした。

後半の意見交換会では、トークテーマとして「地方

女性の活躍する地域づくりとは」「どんなセクシュアリティでも暮らしやすい地域とは」「ジェンダー平等に必要な教育とは」の3つを設定し、地域や所属を超



えたグループにわかれて、ワークを行いました。グループワーク形式の意見交換会にすることで、普段の活動に根ざした率直な意見や地域性にフォーカスした意見が出ました。さまざまな地域や所属、年代の方を交えたグループを作ることで、世代を超えた交流や意見交換に繋がり、年配者・若者の双方にとって非常に意味のあるワークとすることができました。グループワーク終了後、簡単にグループごとに話し合ったことを発表する場を設け、現状と課題を整理し、それを参加者全体で共有することができました。フェスティバル実行委員の長年の目標であった、「若者との交流」が実現できたことは、達成感につながるだけでなく、今後の更なる展開をも期待できる、大きな一歩となりました。多くの参加者や実行委員の皆様のご協力により、実りある交流会を行うことができました。

今回の交流会をきっかけに、今後も富士東部地域の男女共同参画推進拠点として、年齢や性別問わずさまざまな人同士が交流できるセンターを目指していきたいと思っています。